**図　画　工　作　科　学　習　指　導　案**

日　時　令和　年　　月　　日

対　象　第　学年　組　　名

授業者

会　場　図画工作室

　　　　一階廊下・階段・渡り廊下

**１** 題材名 　　　　　　「Ｈａｐｐｙ　ペタペタ　ＡＲＴ！」

A表現(1)ア(2)ア〔共通事項〕(1)ア,イ

**２** 題材目標

**（1）「知識及び技能」に関する目標**

・自分の感覚や行為を通して形や色、「奥行き」「バランス」「色の鮮やかさ」などの造形的な特徴を理解する。

・マスキングテープの特徴を感じ取りながら、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくる。

1. **「思考力・判断力・表現力」に関する目標**

　　・学校内の壁面を中心に、その場所や空間の意味や特徴を考えながら、マスキングテープやその他の材料の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。

　　・ 自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている

**（３）「学びに向かう力、人間性等」に関する目標**

・学校内にいる人の気持ちも想像しながらつくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組む。

**３** 評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知知識・技能 | 思思考・判断・表現 | 主主体的に学習に取り組む態度 |
| ・自分の感覚や行為を通して形や色、「奥行き」「バランス」「色の鮮やかさ」などの造形的な特徴を理解している。  ・マスキングテープの特徴を感じ取りながら、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。 | ・学校内の壁面を中心に、その場所や空間の意味や特徴を考えながら、マスキングテープやその他の材料の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。  ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。 |

**４** 題材について

1. 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)

図画工作　〔第５学年及び第６学年〕 内容　Ａ 表現（１）ア（２）ア〔共通事項〕（１）ア（１）イ

Ａ表現（１）ア　　造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思いつくことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

Ａ表現（２）ア　　造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、全学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。

共通事項（１）ア　自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

　　　　　　　イ　形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

を受けて設定した。

　学校内の壁を中心とした場所や空間の特徴を基に思いついたことを、マスキングテープを主材料とし、画用紙やそのほかの材料、カラーペンやクレパスなどの描画材を工夫してつかいながら活動を工夫してつくる内容である。

**（2）児童観（例）**

6学年の児童は5学年までの間に様々な材料や用具を「工夫して使ってつくる」力を少しずつつけてきた。教師の話を聞いて題材について見通しをもちながら、主題からどのようなイメージがするのか、自分だったらどのように表すのかを考えた。アイディアスケッチを行ったり、1人一台端末をつかって資料を検索したりするなどして、一人一人がその都度題材に向き合ってきた。各クラスに1割程度、自分の考えに自信がもてず、製作に前向きに取り組めない児童がいる。様々な手立て（一緒につくる・友人の活動を見ながら促す・教師の試作から選ばせる　など）を行ってきたが、児童自身がつくったり描いたりすることに喜びをもって取り組めないことが残念である。自ら「つくりたい」と思いながら、前向きに取り組めるように児童の興味関心に基づいて題材を設定する必要がある。本題材では、友人たちと同じ場所や空間で流動的に活動することにより、自然とお互いの活動を見ながら発想が促されるようにした。

　　また、6学年の児童はコロナ禍の中で造形遊びの活動が制限されていたため、造形遊びの経験が少ない。3学年時には長く切った新聞をつなげて、思いついた活動を工夫して行う「ながーい紙つくって」を行った。子ども達は、長くつなげた新聞紙を図画工作科室中につけたり、天井に吊った紐に垂らしたりする中で、造形遊び特有の「材料と場所から思いついたことを活動を工夫してつくる」ことを実感できた。しかしそれ以来、「絵や立体に表す」領域の導入で、素材に触る時間を十分にもつことで発想を促すような内容は行ってきたが、造形遊びとして授業を行うのは2年ぶりとなる。このような児童の実態を踏まえて、どの児童もつまずくことなく、一人一人が「楽しく活動に取り組む」ことができるように、操作が比較的簡単な材料や用具を選んだ。そして、学校の壁や階段などの場所や空間の特徴を生かしてつくることは、今まで行ったことのないことであり、新たな造形への視点や、児童の発想を広げるきっかけにと設定した。また、「造形遊び」で培うことのできる「場所や空間に関わる」「場所や空間の特徴を基にイメージする」力を本題材で発揮できるようにと考えた。

1. 教材観
   1. 児童の活動場所⇒学校

　　本題材で活動場所として選んだ所は、児童が生活する学校の環境である。児童が登校し、靴箱に靴

を入れ、教室へと向かう。本校は小学校6年間を通して、4階までの階段を昇る。成長するごとに階段を昇る回数は増えて、友人と楽しい会話をしながら上ったり、休み時間に校庭へ駆け下りたりしてきた場所や空間でもある。そのような、当たり前にある場所や空間を改めて見つめ、その場所を児童のイメージでつくり変えていく。場所や空間の特徴の中には、同じ学校に生活する「人」もはいる。造形物があることによって変わる「人の動き」や「人の感情」も想像しながら、志村第二小学校のみんなが「Happy」になるような「アート」空間を、児童のアイディアでつくっていく。6学年ならではの、他学年を意識した製作が行える。

* 1. **貼りたくなる、どんどん表したくなる「マスキングテープ」**

造形遊びは思い付いた活動を工夫してつくる内容である。思い付いたらすぐに取り組め、つくりつくりかえつくるがスムーズに行える材料が適している。本題材では「壁に貼る」に適している材料としてマスキングテープを選んだ。児童がイメージしたことに合わせて色を選択できるように、色が様々あり、発色が明るいものを選んだ。そしてマスキングテープは透過性がある素材である。重ねて貼ることにより色数を増やすこともできる。その特徴からイメージが広がっていくことも考えられる。副材料として画用紙と養生テープも用意した。製作が進む中で出てきた表現に大きな面を足したいときに使えるようにと考えた。また、同様にカラーペンやクレパスなどの描画材も併用して使えるようにした。

* 1. **中学校美術「デザイン」の視点へのつながり**

題材の2次では、作品を鑑賞する場面の後に、生活の中にある造形物の鑑賞を行う。その一つが町の中にある階段が大きなピアノになったものだ。白い階段に、黒いテープを貼ることによって、ピアノの黒鍵を表わしている。また、センサーもついていて、階段を踏むごとに音がなるような仕組みも備えられている。普段エレベーターを使用していた人も、そのようなデザインが施されたことにより、

階段を使用する頻度が上がった。製作者は見た目の楽しさだけでなく、階段を昇り降り、することによって運動不足解消もできたらと考えている。このように、つくったものが誰かの行動を変えたり、それによって便利になったり、気持ちが穏やかになったりすることを「デザイン」として学んでいく。そのような中学校美術へのステップアップとして本題材の目標の中に「学校のみんながHappyになる」を設定した。

# 日テレニュース

# 「【駅に巨大ピアノ】階段に上り下りで…鍵盤に合わせた音色が　福岡市」→

**５** 題材の指導計画と評価計画 （３時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習活動 | 評価の観点  （評価方法） |
| 120  分  本時  45  分 | 題材の内容を知る。  　〇動画を見て、作品によって変わる人の動きや表情について知る。  　〇どこにどのような造形物をつくるかをイメージしながら場所や空間を見付ける。  　〇見付けた場所にマスキングテープや画用紙などの材料をつかっ  て工夫してつくる。  お互いの活動を見合う  振り返りカードの記入  身の回りのデザインについて知る | 知　思  （タブレット端末  活動の様子・表情  作品） |

**６** 本　時 （全３時間中の第１．２時間目）

(1) 目標

学校内の壁面を中心に、その場所や空間の意味や特徴を考えながら、マスキングテープやその他の材料の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えて活動を工夫してつくる。

(2) 展開（９０分授業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ○学習活動　　・予想される児童の反応 | ●指導上の留意点・配慮事項  ☆評価　知　思 |
| 導入  展開① | 〇題材について知る。  学校の壁や階段などにどんな「アート」があったらみんなが「Happy」になるかを考えて、マスキングテープや今までつかったことのある材料を工夫してつくろう  〇階段を登る様子を録画した動画を見みる。  　・みんな下を向いている。  　・階段上るのって大変だよね。  〇図画工作室から6年生の教室まで上がりながら、場所や空間の特徴を感じる。  　・やっぱり昇るのは大変だな。階段って暗いな。もっと明るく楽しい場所にしたい。  　・丸い窓がある！  〇お互いがどんな場所を選んで、どのような発想をしているのかを交流する。  〇場所を選び、マスキングテープや他の材料をつかって工夫してつくろう。  　・階段を上ることが楽しくなるようなものにしたいな。長い壁に線路を走らせてみよう。  　・踊り場の広いスペースに大きな動物が口を開いた感じに描きたい。ふしぎな世界に続く感じがいい。友人と協力してつくろう。  　・つくったものを見てみたら、もっとはっきりとカラフルにしたい。カラーペンをつかって描き加えよう。  〇片づけと本時のふりかえり | ●動画を見ることにより、学校に生活する人にも意識がもてるようにする。  ●実際に歩くことにより、その場所や空間の特徴について考えられるようにし、この後の造形活動の発想のきっかけになるようにする。  ●交流することにより、自分では気づかなかった視点や、考えられなかった発想を知り、この後の造形活動に生かせるようにする。  ●一人でつくっても良いし、友人と話し合う中でグループでつくっても良い。イメージが浮かばない児童は、友人とつくる中で、いろいろなことを話したり、共有したりしながら活動できるように声をかける。  ●場所や空間からイメージできない児童には、友人がどのような視点で選んでいるのかを紹介したり、一緒に考えたりする。  知　思　（活動の様子・作品） |
| 展開② |

**８** 学習の準備

教師：マスキングテープ12色セットを１０箱　画用紙　水性カラーペン12色セット

**９** 板書計画及び場の設定

○板書計画

学校の壁や階段などにどんな

「アート」があったらみんなが

「Happy」になるかを考えて、

マスキングテープや今までつかっ

たことのある材料を工夫してつく

ろう

Happy

ぺたぺた

ART

学習活動のながれ

1. 場所をさがそう

　〇場所の特徴（形・色）

　〇だれが見る？

どんなふうに見る？

1. 材料を選んでつくろう

マスキングテープ

画用紙などなど

めあて

まで

活動の様子





